

# 土に還る(1)下肥を使う

しもじえ

エッセイ 大江戸エコロ帖  
第六回

文／石川英輔

われわれは気軽に循環型社会という言葉を口にしているが、今の日本には循環型になるために必要な重要部分がすっぽり抜け落ちている。それは「土に還る」という回路だ。都会では、生ごみのようにもともと土に還しやすいものでさえ、燃えるごみとして焼却するというむだな処理をするほかなくなっている。農村部でも、自治体が町の生ごみを堆肥化する工場を建設すればニュースとして報道されるほど珍しいことになってしまった。

だが、昭和30年代あたりまでは、大都会の中心地はともかく日本の大部分の地域では、土に還る回路がまだ生き残っていた。江戸時代までさかのほれば、周辺の農村の人は当然のこととして都市のごみを肥料として回収していた。住民の生ごみはもちろん、魚河岸から出る「魚芥」まで肥料として使ったため、すべて土に還った。生ごみどころか、動物の排泄物さえも汚物

図版／男の子が、地面に落ちる前に馬糞を受け止めている。「北斎漫画」より



である前に資源だった。馬糞を集めている絵は多いし、人間の排泄物が「下肥」という名前の商品として売買されていたことはご存じの方も多いと思う。いずれも確実に土へ還ったのだ。さらにいうなら、都市周辺の農家では下肥が慢性の不足状態で、18世紀の後半だけで、江戸の下肥価格は3倍に高騰した。たまりかねた農村側は、寛政元年(1789)に武蔵、下総の1000カ所を超す村々が、町奉行所に下肥値段の引き下げを請願したことまであるそうだ。下肥の汲み取りを「汚いものを農家の人にとって行ってもらう」と思うのは現代人の発想で、実態は、町の住民が肥料メーカーとして農家に相場価格で売っていたのだ。生産量の多い大メーカーである大名家の中には、下肥価格を入札で決める家さえあった。農家も手をこまねいていたわけではなく、下肥不足に対応するため、市中に貸雪隠という公衆便所を設ける権利を得るまでして下肥を集めた。江戸時代の金沢市街を描いた屏風

絵に、市中においた肥桶をトイレとして利用している場面があるところからみると、ある程度以上の規模の都市ではどこでも似たようなことをしていたらしい。

現代人は、下肥を土に還す回路を捨てて、汚物として処理する道を選んだ。その結果、東京では都民一人当たり年間に石油約30リットル相当のエネルギーを下水処理に使い、大量のCO<sub>2</sub>を発生させている。

いしかわえいすけ  
作家。著書に、江戸時代の資源やエネルギーの循環について紹介した「大江戸リサイクル事情」大江戸えねるぎ事情などがある。

## 交換するのは“ブラシ”だけ！



kurkku design (電話:03-5414-6998) <http://shop.kurkku.jp>

使っていると劣化してくるため、定期的に取り替えなくてはならない歯ブラシですが、よく考えると、劣化するのは「ブラシ」の部分だけ。まだ使える柄の部分があったくない……。そんな風に感じた人は、ブラシのみ交換できる「テラデントハブラシ」に、代えてみては？ ブラシ部分はカートリッジ式になっていて、簡単に着脱可能。これなら捨てるのは、わずか1g！ほんの小さなことなのですが、こういうところからエコを取り入れたいものですね。

## 古紙幣で作った時計「Time is Money」



ビーモールド研究開発センター(電話:0765-23-0800) [http://www.izak.co.jp/b\\_mold](http://www.izak.co.jp/b_mold)

傷んだり、破れてしまったり「使えない」と判断されたお札は、日本銀行に回収され、細かく裁断されます。ビーモールド研究開発センターでは、そんな不要となった紙幣のかけらを用いて、ユニークなリサイクル商品を作っています。そのひとつが置き時計の「Time is Money」。お札の風合いが残っているのも、味があります。もちろん、解体して紙幣の形に戻すのは不可能！ほかに、同素材の貯金箱もあり、エコだけでなくオシャレも効いたラインナップです。

エコモノたちで、あなたの暮らしを彩りあるものにしてみませんか。

エコモノ

## 小麦粉袋がオシャレなバッグに！



使い込んだような独特の風合いと、オシャレなデザインが目を引くトートバッグ。一見、普通のバッグに見えますが、もとは小麦粉の袋だったというから驚きです。フランスの老舗製粉メーカー「VIRONN(ヴィロン)」の小麦粉袋を、ひとつひとつ手作業で、リメイクしています。要所を皮で補強しているので、10kgの重さにも対応。大きさは高さ28cm、幅34cm、奥行き16cm。普段使いはもちろん、小さく畳めるので、エコバッグとして携帯してもOK。

kurkku design (電話:03-5414-6998) <http://shop.kurkku.jp>